

令和5年度 第1回鴨川市総合教育会議 議事録

1 日 時 令和5年10月19日(木) 開会 午後1時10分
閉会 午後3時30分

2 場 所 鴨川市立田原小学校 2階 図書室

3 出席者 (1) 長谷川孝夫 市長 (2) 鈴木 希彦 教育長
(3) 石井 千枝 教育委員 (4) 吉原 里夏 教育委員
(5) 永島 康弘 教育委員 (6) 丸山 伸夫 教育委員
*事務局職員
(7) 山口 昌宏 教育次長 (8) 関口 和則 学校教育課長
(9) 岡安 泰弘 生涯学習課長 (10) 福田 和史 主任指導主事
(11) 石崎要一郎 指導主事 (12) 犬石 貴久 管理指導係長
(13) 洲永 康弘 部活動地域移行コーディネーター
*田原小学校職員
(14) 川名 直樹 教頭

4 開会・出席者紹介（石崎指導主事）

○ 石崎指導主事から、出席委員及び関係職員が紹介された。また、今後の日程や授業参観等についての確認がなされた。

5 市長挨拶（長谷川市長）

改めまして、こんにちは。

本日は、総合教育会議にご出席をいただき、ありがとうございます。

挨拶の前に、一言お話させていただきます。先の台風13号は、多くの皆様方の土地、建物に大きな被害をもたらしました。関係者の皆様に改めてお見舞い申し上げます。幸いにして人命に関わる被害はありませんでしたが、当日から3日間かけて、被害の状況をつぶさに見させていただくとともに、その状況をしっかりと把握させていただきました。また、復旧復興に向けた対策を早急に立てることが大事でありますので、先般の市議会の中で、議会の皆様方の理解を得て、その対応を図らせていただきました。なお、まだまだ大きな被害箇所もあるようで、国や県と共にどのような対応ができるのか、その検証を急いでいるところです。ご理解をいただきますようお願いいたします。

さて、教育委員の皆様には、日頃より、本市の教育に対しまして高所、大所から、熱意をもってご尽力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

この4月から、新たに、教育委員となられました丸山伸夫様におかれましては、本市の教育行政の進展に、新たな視点でお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

ご承知のように、本年5月から、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行し、徐々にコロナ禍前の日常が戻ってきております。本市基幹産業の一つであります観光業につきましては、コロナ前の令和元年度のような状況に戻りつつある、また、農家のお米の値段も昨年より上がってきており、活気が戻りつつあると感じております。しかしながら、物価高騰の影響を受け、飼料代や油代も値上がりしている状況であり、市として

も、これらに対する対応を着実にやっているところですので、ご理解をいただきたいと思
います。

また、本日、田原小学校の6年生と校長先生が修学旅行に出かけていると聞きました。
陸上記録会等の学校行事も平常どおり行われ、子どもたちにも、熱気が戻ってきたと伺っ
ています。また、千葉県が誕生150周年を迎えたことから、市民音楽祭も記念行事として
開催される運びとなりました。更に、11月3日以降に文化祭も実施されます。ほぼ、コロ
ナ前の生活が戻ってきたと感じますが、新型コロナウイルスはなくなった訳ではなく、ま
だまだ気をつけなければなりません。更には、コロナとインフルエンザが一緒になって子
どもたちの中に広まっていると聞いているところです。学校関係者の皆様には、子どもた
ちの健康に理解と配慮をお願いしたいと思っており、安心安全な学校生活ができるよう願
うところであります。

さて、年度当初、久しぶりに市内の校長先生との懇談会を実施させていただきました。
昨年度のこの会議でも「学校の役割は何か」と皆さんに問いかけた記憶がありますが、そ
れぞれの校長先生方に「教育の目的」をテーマに話し合いをさせていただきました。

学校は、子どもたちが生き活きと学ぶ中で、確かな学力や豊かな心、逞しい体を作る場
であると校長先生は明言されましたが、「これからの学校の役割は何か」を再度考えてい
ただければと思います。私は、多様性のある子どもたちの生活に対応できる学びの環境を
どう整えるかが、私たちの大きな課題、永遠の課題であると思っています。将来を見据え
た中で、皆様方のご意見を、声をお聞かせいただければありがたいと感じております。

また、もう一つの課題であります、老朽化の著しい学校施設や子どもたちの急激な減少
傾向をどう捉え、今後の学習環境をどう整えるかは、本市にとって待ったなしの課題であ
り、将来を見据えた学校施設等の適正配置にも取り組んでいるところであります。皆様方
にも一緒になって学校の在り方について、ご検討・ご助言を頂ければありがたいと思っ
ているところです。まさに、皆様方のお知恵をお借りする中で、様々な諸課題についてお諮
りしていく中で、よい答えを見つけていけたらと思いますので、よろしくお願いいたしま
す。

今日は、せっかくの機会であります。皆様方から色々な意見を忌憚なくいただきながら、
本市の子どもたちを、将来に向けて鴨川市を背負う、日本を背負う子どもたちに育てるた
めにどうしたらよいか、その学習環境をどう整えたらよいかという視点でご意見を賜りま
すようお願いいたします。私は、多様な子どもたちに対応する多様な学習環境をどう整えてい
くかが大きな課題であろうと捉えています。これは、鴨川のみならず、日本全体に言える
ことであろうと思っていますので、よろしくお願いたします。

6 教頭より

- 川名教頭から、田原小学校の現状と課題についての説明がなされた。

川名教頭の案内により授業参観（13:30～14:05）

7 確認事項（関口学校教育課長）

- 関口学校教育課長から、授業参観の感想や質疑等についての説明がなされた。
 - ・ 丸山委員から、タブレットを活用した体育の実技指導についての感想が述べられた。
 - ・ 長谷川市長から、タブレットを使った実技の撮影とその後の視聴についての質問が

なされた。

- ・ 川名教頭から、撮影者とその後の視聴についての説明がなされた。

8 協議事項（関口学校教育課長）

関口学校教育課長から、「鴨川市総合教育会議運営要綱」第3条に「会議は、市長がその議長となる。」と定められていることから、日程4の協議事項から日程5の意見交換の議長を長谷川市長にお願いする、との依頼がなされた。

(1) 鴨川市の部活動地域移行について

- ・ 石崎指導主事及び洲永部活動地域移行コーディネーターから、別冊資料「鴨川市における学校部活動の地域移行について」をもとに説明がなされた。
- ・ 永島委員から、部活動が地域移行された際の施設や用具の管理の在り方について、質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、部活動指導員として依頼した方々は、いずれも鴨川市スポーツ協会卓球専門部の所属であり、これまでも継続的に各学校で卓球の指導を行っている。そのため、体育館で活動をする長狭、安房東の両校の部活動指導員は、鍵や道具の管理について十分な理解がある。また、校舎内で活動を行う鴨川中学校の施設管理については、セキュリティ面の課題があるため、学校職員の協力等が必要になるとの説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、現在、地域移行を行っている市内の部活動についての確認がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、地域移行を行っている市内の部活動は、市内3中学校の卓球部及びKCCスポーツクラブに地域移行している鴨川中学校水泳部であるとの説明がなされた。
- ・ 永島委員から、部活動が地域移行された際の備品購入等について質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、使用する備品については、学校で使用しているものを継続的に使用することを原則としたい。また、新たに購入する物については、その都度、協議する必要があるとの説明がなされた。
- ・ 丸山委員から、地域スポーツクラブ活動実証事業として、卓球を選んだ理由について質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、卓球を選んだ理由として、部活動指導員の3名が各学校の卓球部の指導に継続的に関わってきた経緯があるためであるとの説明がなされた。また、卓球部以外にも、各学校で生徒の指導に関わっている外部指導者が複数名存在するとの補足説明がなされた。
- ・ 永島委員から、部活動指導員の派遣期間について質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、部活動指導員の派遣は年度単位を原則としたい。ただし、部活動指導者が不在とならないよう、学校・地域・保護者と連携を図る必要があるとの説明がなされた。
- ・ 永島委員から、部活動指導員確保のため、人材ネットワークが必要であるとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、次年度以降の部活動指導員派遣について質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、部活動指導員の派遣については、市

内の団体スポーツクラブ等への依頼を検討したいとの説明がなされた。

- ・ 鈴木教育長から、教職員を対象としたアンケート調査について、多くの職員が部活動にやり甲斐を感じている反面、現在の部活動の在り方を変える必要があると回答している点についての質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、多くの教職員が、部活動指導に前向きな気持ちを持っている反面、部活動の課題も認識しており、このことが回答結果につながったと推測されるとの説明がなされた。
- ・ 石井委員から、教職員を対象としたアンケート結果について、勤務時間の大幅超過や、専門的知識のない部活動を担当しなければならないことについての質問がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、教職員アンケートの結果から、約半数の教職員が競技経験のない部活動を指導しているとの説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、鴨川市学校部活動地域移行連絡会の実施についての確認がなされた。
- ・ 洲永部活動地域移行コーディネーターから、鴨川市学校部活動地域移行連絡会の実施について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、中学校新1年生の部活動任意加入についての確認がなされた。
- ・ 鈴木教育長から、生徒個々の生活状況が違うこと等を鑑み、部活動の任意加入については、慎重に検討する必要があるとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、部活動の任意加入については、生徒指導上の課題等も鑑み、教職員の声も大事にすべきであるとの意見が述べられた。
- ・ 石井委員から、週末はクラブチーム等に所属する生徒が、部活動全員加入によって、平日は違う種目の活動を学校で行うなど、生徒の負担が過度にならない工夫が必要であるとの意見が述べられた。また、放課後の活動として、目的意識を持った活動を行う生徒については、任意加入の検討も必要ではないかとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、部活動の任意加入については、市内各校のしっかりとした共通理解が必要であること。部活動は、生徒指導上の意義や多様な価値観に触れる機会としての役割もあることから、十分な意見聴取が必要であり、今後、慎重に検討していくべきとの方向付けがなされた。

9 意見交換（長谷川市長）

長谷川市長から、意見交換のテーマである学力向上について、事務局からの説明が求められた。

(1) 学力向上について

- ・ 福田主任指導主事から、鴨川市の学力向上の取組について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 石井委員から、学力向上について、教師の授業力向上と子どもたちの基礎的な学習習慣の確立が大切であるとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、基礎的な学習習慣の確立について質問がなされた。
- ・ 福田主任指導主事から、学力向上の基盤となる学習規律の確立について、各学校

への指導助言を行っていくとの説明がなされた。

- ・ 長谷川市長から、教師の指導技術を磨き合う場面について質問がなされた。
- ・ 福田主任指導主事から、日頃からオンラインによる授業参観を行っていること。また、今後、高い指導技術を持った教師や授業作りコーディネーターの活用を行っていきたいとの説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、互いの授業を見合い、教師の指導技術を高めることの大切さについての意見が述べられた。
- ・ 永島委員から、学力向上政策委員会の構成メンバーやその活動についての質問がなされた。
- ・ 福田主任指導主事から、学力向上政策委員会の構成メンバーとその活動についての説明がなされた。

(2) その他

- ・ 長谷川市長から、学校教育についての総括が述べられた。

10 閉会

- 関口学校教育課長が、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和5年11月21日

鴨川市長 長谷川 孝夫

議事録作成 (学校教育課長 関口 和則)